

防コミの歩き方



みんなで取り組む減災

●藤原台防災防犯福祉コミュニティ協議会

神戸市北区の藤原台地域で活動しています。藤原台は北町・中町・南町の3町から成り、約6,200世帯16,300人が居住し、避難所になる小学校2校・中学校2校が地域内にあります。当協議会は3町の自治会・5マンション群の管理組合・民生児童委員協議会・青少年育成協議会・老人会により運営・活動をしています。

●訓練の想定

地域特性として、神戸市が大規模開発したニュータウンで土砂災害の危険度も低いことから、地震災害に焦点を絞って訓練を重ねています。具体的には、南海トラフ地震を想定し、住民共助による消火活動と安否確認・救助や応急手当などの地域防災力の強化を図っています。

●活動の取り組み

隔月開催の定例役員会での防災教育をはじめ、北町、中町、南町のブロック毎に消火器の取り扱いや消火栓から消防ホースを延長して放水する訓練などを行っています。



特に北町ブロックでは可搬式動力ポンプが更新されたことに伴い、防火水槽から水を吸い上げて放水する訓練も予定しています。

●総合防災訓練

地区内の小学校を会場に、ジャッキを用いた救助訓練やAEDの取り扱い訓練、三角巾でのケガの手当などの、地震直後に必要となる技術の習得を目指した訓練を行っています。また、それだけでなく避難所での生活に必要な知識として、非常持出袋の紹介やローリングストックのすすめ、非常トイレの紹介なども行っています。

●災害時給水拠点での給水訓練

地区2か所にある災害時給水拠点での給水訓練を行っています。給水器具の組立だけでなく、自宅まで水を運ぶ方法も学んでいます。

●最後に

今後も若い子育て世代が参加しやすい、参加したいと思っただけの魅力ある活動を目指していきたいと思います。

(藤原台防災防犯福祉コミュニティ協議会

会長 米林 満)

